

## 第6章の補遺4 もう一つの微分積分の基本定理

実数  $a$  が属す区間  $I$  において関数  $f$  が連続であるとする.  $f(x)$  の不定積分  $F(x) = \int f(x) dx$  がある. 区間  $I$  の各点  $x$  に対して,  $f$  は  $a$  から  $x$  まで定積分可能である. 6.4節の微分積分の基本定理より,

$$\int_a^x f(t) dt = [F(t)]_a^x = F(x) - F(a).$$

これを微分する.  $\frac{d}{dx} F(x) = \frac{d}{dx} \int_a^x f(x) dx = f(x)$  なので,

$$\frac{d}{dx} \int_a^x f(t) dt = \frac{d}{dx} \{F(x) - F(a)\} = \frac{d}{dx} F(x) - \frac{d}{dx} F(a) = f(x).$$

つまり  $\frac{d}{dx} \int_a^x f(t) dt = f(x)$ .

**定理** 実数  $a$  が属す区間  $I$  において, 関数  $f$  が連続であるならば

$$\frac{d}{dx} \int_a^x f(t) dt = f(x).$$

この定理はここでは6.4節の微分積分の基本定理を用いて証明した. しかし, 先にこの定理を証明して, この定理を用いて6.4節の微分積分の基本定理を証明するやり方もある. そのためこの定理も微分積分の基本定理といわれることがある.

**例** 実数全体を定義域とする関数  $F$  を  $F(x) = \int_0^x \sqrt{t^2+3} dt$  と定める.  $F$  の導関数  $F'$  を求める.

$$F'(x) = \frac{d}{dx} F(x) = \frac{d}{dx} \int_0^x \sqrt{t^2+3} dt = \sqrt{x^2+3}.$$

**問題 6.補遺4.1** 正の実数の全体を定義域とする関数  $F$  を  $F(x) = \int_1^x (\ln t)^3 dt$  と定める.  $F$  の導関数  $F'$  を求めよ.

**例題** 区間  $[-\frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{2}]$  を定義域とする関数  $F$  を  $F(x) = \int_0^{\sin x} \sin^{-1} t dt$  と定める.  $F$  の導関数  $F'$  を求める.

変数  $x$  について  $-\frac{\pi}{2} \leq x \leq \frac{\pi}{2}$  とする. 変数  $y$  を  $y = \sin x$  とおく.

$$F'(x) = \frac{d}{dx} \int_0^{\sin x} \sin^{-1} t dt = \frac{d}{dx} \int_0^y \sin^{-1} t dt.$$

合成関数の微分法により,

$$\frac{d}{dx} \int_0^y \sin^{-1} t dt = \frac{d}{dy} \int_0^y \sin^{-1} t dt \cdot \frac{dy}{dx} = \sin^{-1} y \cdot \frac{d}{dx} \sin x = \sin^{-1}(\sin x) \cdot \cos x.$$

$-\frac{\pi}{2} \leq x \leq \frac{\pi}{2}$  なので  $\sin^{-1}(\sin x) = x$ . 故に  $F'(x) = x \cos x$ .

**問題 6.補遺4.2** 区間  $(-\frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{2})$  を定義域とする関数  $F$  を  $F(x) = \int_0^{\tan x} \tan^{-1} t dt$  と定める.  $F$  の導関数  $F'$  を求めよ.

**例題** 変数  $x$  の関数  $\int_0^x (\sin t^2 + \sin x^2) dt$  を微分する.

$$\frac{d}{dx} \sin x^2 = \cos x^2 \cdot \frac{d}{dx} x^2 = \cos x^2 \cdot 2x = 2x \cos x^2.$$

$$\begin{aligned} \frac{d}{dx} \int_0^x (\sin t^2 + \sin x^2) dt &= \frac{d}{dx} \left( \int_0^x \sin t^2 dt + \int_0^x \sin x^2 dt \right) \\ &= \frac{d}{dx} \int_0^x \sin t^2 dt + \frac{d}{dx} \{(\sin x^2) \int_0^x 1 dt\} \\ &= \sin x^2 + \frac{d}{dx} (x \sin x^2) \\ &= \sin x^2 + \frac{d}{dx} x \cdot \sin x^2 + x \cdot \frac{d}{dx} \sin x^2 \\ &= \sin x^2 + \sin x^2 + x \cdot 2x \cos x^2 \\ &= 2 \sin x^2 + 2x^2 \cos x^2. \end{aligned}$$

**問題 6.補遺4.3** 正の実数を表す変数  $x$  の関数  $\int_1^x \ln\{x(t^2+1)\} dt$  を微分せよ.